

令和4年度教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	学 校 名
40	岐阜県立東濃実業高等学校

学校教育目標	○地域の未来を創出する人材の育成 1 他者とのかかわりを通して自己を見つめ、豊かな人間性を備えた生徒を育てる。 2 確かな教養に裏付けされた専門的知識・技術を有し、地域の未来を見据えて主体的に学び続ける生徒を育てる。		
スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 グラデュエーション・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 カリキュラム・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 アドミッション・ポリシー (AP)
	・将来のリーダーに必要な、公共の精神と対話・コミュニケーション力を身に付け、仲間と協力して課題解決することができる生徒 (うごかす力) ・基礎学力を着実に身に付け、自分自身の未来を見据えながら自ら学び続ける意欲を身に付けた生徒 (つなぐ力) ・グローバルな視点で地域社会の将来を展望し、商業、生活産業の各分野で、スペシャリストとして活躍する力を身に付けた生徒 (つくりだす力)	・生徒一人ひとりの個性や適性に応じた学びを実現するためのカリキュラム編成ときめ細やかな指導の実施 ・ICTを活用し、自ら学び続ける意欲を持たせるための「主体的・対話的で深い学び」や「探究的な学び」の推進 ・SDGsを意識し、変化する産業構造を見据えながら、地域の大学や産業界との連携、協働による実践的な専門教育を推進	・部活動や生徒会活動を含めた学校でのあらゆる活動を通して、自己を見つめ、仲間と協働し、人間性を高めようとする生徒 ・向上心を持ち、自ら学び続けようとする主体性のある生徒 ・商業・生活産業に関わる学習内容に興味があり、地域社会で活躍する「夢」に向かって努力する意欲のある生徒
教育指導の重点 (今年度の具体的な重点目標)	重点目標の達成に必要な具体的取組、方策		達成度の判断、判定基準あるいは評価指標
1 うごかす力(心豊かな人間性)の育成 人権教育の充実を図り、他者との協同・協調を通して、自他ともに大切にす。 また、あらゆる活動を通して対話力・コミュニケーション力を高め、リーダーシップを醸成する。	①校則の見直しを通して人間尊重の気風がみなぎる学校づくりを推進します。 ②新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、基本的な感染症対策と集団感染のリスクへの対応を行う「新しい生活様式」を導入します。 ③生徒会やMSリーダーズの活動、各教科の学習や部活動を通じて、言語能力の確実な育成を図りつつ、地域や社会の発展を担う人材育成に取り組みます。		①生徒・保護者・地域に受け入れられる校則。 ②生徒及び教職員の感染者0(ゼロ)を目指す。心のケア、差別・偏見を意識した対応への取組。 ③生徒の意識に関するアンケート結果の肯定90%以上、及び生徒の変化。
2 つなぐ力(自ら学ぶ力)の育成 基礎学力を着実に身に付け、自分自身の将来を展望し、主体的・対話的で深い学びを通して、自ら学び続ける意欲を身に付けた生徒を育成する。	①基礎基本を重視し、学習目標の明確化と生徒一人ひとりに応じた個別最適化を目指した学習指導の実践に努めます。 ②ガイダンス機能を充実させるとともに学校教育のあらゆる場面でキャリア教育を推進し、各学科で学んだことを生かした進路選択ができるよう、計画的・組織的な指導をします。 ③ICT機器を活用し、生徒に主体的・対話的な深い学びができる環境の実現、教材の共有化することで教材研究等にかかる時間を削減し、教員の働き方改革を推進します。		①定期考査における成績不振生徒(素点)5%以内。 ②生徒の進路希望100%実現。進路ガイダンス、進路講話、進路に関するLHRの実施回数年間10回以上。 ③生徒の学び方、教師の働き方改革※ができたという実感の確認。(※時間外労働、月45時間/年360時間以内)
3 つくりだす力(専門的知識・技術)の育成 商業、生活産業の各分野で、スペシャリストとして活躍する力を身に付けさせるとともに、グローバルな視点で地域社会の将来を展望し、力を尽くすことができる生徒を育成する。	①地域や企業との連携を実践学習や課題解決学習の場として活用し、実践力、コミュニケーション力、創造力を高め、生涯にわたり探究を深める未来の創り手を輩出します。 ②商業では「人づくり」、生活産業では「思いやり」を重視し、急速に変化する世界の動向を見据えつつ、日本の伝統的な産業文化の継承・創造に関する教育内容を充実させます。 ③必要な施設・設備の計画的な整備を促します。		①授業評価アンケート(生徒評価)で「授業に満足している」85%以上。 ②学習成果発表会における外部評価。 ③PTA、学校運営協議会委員の声。